

第5学年 音楽

第5学年の学習到達目標

- (1) 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- (2) 音の重なりや和音の響きに重点を置いた活動を通して、基礎的な表現の能力を高め、音楽表現の喜びを味わうようにする。
- (3) 音楽の美しさを味わって聴き、様々な音楽に親しむようにする。

第5学年の主な学習内容

学期	単元名 ◎は鑑賞教材	学習のねらい	学習内容
前期	心から心へ	●年間を通して愛唱したり、歌う楽しさを味わったりする。	○気持ちを込め、人に伝わるように歌う。
	にっぽんのうた みんなのうた こいのぼり	●情景を想像し、旋律のまとまりやリズムの特徴を生かして表現する。	○歌詞の内容を理解して情景を想像し、歌い方を工夫する。 ○躍動的なリズムや楽曲のやまを生かして歌う。
	音の重なりとひびき 茶色の小びん こきょうの人々	●主旋律と低音がつくる音の重なりを感じ取って表現する。 ●和音がつくる音の響きを感じ取って表現する。	○旋律と和音や低音の重なりや響きを感じながら演奏する。 ○リズムを変えたり分散和音にして、和音の演奏の仕方を工夫したりする。 ○ハ長調の音階と和音を、表現に関連して理解する。
	アンサンブルのみりよく ◎いろいろな合唱 ハロー・シャイニングブルー ◎組曲「カレリア」から 星笛	●声の種類を知り、さまざまな形態による合唱の響きの特徴を感じ取って聴く。 ●歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して合唱を楽しむ。 ●楽曲の音色を捉え、音の重なりや響きを味わいながら、表現したり鑑賞したりする。	○声のいろいろな組み合わせによる、合唱の響きを楽しむ。 ○旋律やリズムの特徴を生かし、声の響きや表現を工夫して、聴き合いながら歌い合わせる。 ○楽器の音色や旋律の反復・変化に気を付け、オーケストラの音楽を味わって聴く。 ○8分の6拍子の拍の流れを感じ、旋律のまとまりに気を付けて聴き合いながら演奏する。

	<p>言葉と音楽 ◎星とたんぼぼ 赤とんぼ ◎山田耕祐の歌曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●歌詞と旋律の結びつきを感じ取りながら、同じ詩をもとにつくられた二つの楽曲の、それぞれの特徴を感じ取って聴く。 ●言葉のリズムや抑揚と結びついた旋律の流れに気を付けて、情景を思い浮かべながら鑑賞したり、歌い方を工夫したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○同じ詩をもとにつくられた楽曲の表現の違いに気づいて聴く。 ○歌詞の内容を理解して情景を想像し、歌い方を工夫する。
	<p>音のスケッチ 言葉のイメージから音楽をつくろう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●声の表情を工夫し、言葉と旋律の結びつきを感じ取りながら、楽しく音楽づくりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○声の表情に変化をつけ、音楽の仕組みを工夫しながら音楽を作る。 ○言葉を生かした短い旋律をつくり、音楽づくりに生かす。
	<p>音楽の旅 子もり歌 谷茶前 ◎世界の音楽</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●表情や鑑賞を通して、日本の民謡や子守歌に親しみ、特徴を感じ取る。 ●いろいろな国の音楽の特徴や違いを感じ取りながら、それぞれのよさや面白さを味わって聴く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○子守歌や各地の民謡、世界の音楽を歌ったり聴いたりして、楽曲や歌い方などの特徴について話し合う。 ○旋律やリズムの特徴を感じ取り、曲想を生かして表現する。 ○地域の音楽を調べたりする。
	<p>豊かな表現を求めて 風とケーナのロマンス 冬げしき</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●拍の流れによって、フレーズや旋律の流れを生かして表現する。 ●時の移ろいや自然を感じて、情景を想像しながら表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○8分の6拍子の拍の流れを感じ、パートの役割や動きを生かして演奏する。 ○拍子や旋律の特徴を生かして歌い方を工夫する。
	<p>にっぽんのうた みんなのうた スキーの歌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●楽曲の表す情景や心情を想像し、表情豊かに表現する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容を理解し、情景や気持ちを想像して歌う。 ○旋律のもつリズムや流れを生かして、歌い方を工夫する。
後期	<p>音楽のききどころ ◎ピアノ五重奏曲「ます」 第4楽章</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●主題の変化や伴奏の動き、楽器同士のかかわり合いを捉え、変奏曲を楽しむ。 ●主題や伴奏がどのように変化しているかを探りながら、曲想を感じ取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲の組み合わせや旋律、リズムなどの変化に気を付けて聴く。 ○各変奏の特徴を捉えて聴く。
	<p>心を合わせて ルパン三世のテーマ 君をのせて</p> <p>卒業式の歌</p> <p>鼓笛隊の曲</p> <p>校歌、「君が代」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●音楽を形づくっている要素の働きや、曲想の変化を感じ取り、友達とそれらを生かした表現の工夫をしながら演奏する。 ●互いに聴き合い、自分のパートの役割を捉えて演奏する。 ●心をこめて演奏したり、気持ちを合わせて表現したりする喜びを味わうようにする。 ●運動会の行進曲の練習をする。 ●学期の節目や行事に歌えるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○パートの役割を生かして、生き生きと演奏する。 ○歌詞の内容を理解し情景や気持ちを想像しながら、バランスに気を付けて歌う。 ○歌詞の表す気持ちを大切に歌う。 ○リコーダーで演奏できるようにする。 ○覚えて歌えるようにする。

評価の観点・方法

<p>(1) 評価の観点</p> <p>【音楽への関心・意欲・態度】 創造的に音楽にかかわり、音楽活動への意欲を高めるとともに、生活を明るく潤いのあるものにしようとしている。</p> <p>【音楽的な感受や表現の工夫】 音楽のよさや美しさを感じ取るとともに、楽曲全体の構成を理解したり、自由な発想を生かしたりして、表現の仕方を工夫している。</p> <p>【表現の技能】 音楽を聴いたり楽譜を見たりして演奏するとともに、響きのある自然で無理のない声で歌ったり、音色の特徴を生かして楽器を演奏したり、音楽をつくったりしている。</p> <p>【鑑賞の能力】 楽曲の構成に気を付けながら、曲想を全体的に味わって聴いている。</p>	<p>(2) 評価の方法</p> <p>活動の様子や、ワークシート、歌やリコーダーの課題テストなどによって評価していきます。</p>
---	--

特色ある学習方法

- (1) 合唱や合奏、歌唱における伴奏などを通して、和音の響きの美しさを感じ取ったり、表現を工夫したりする活動を進めていきます。
- (2) 鑑賞の活動では、わが国と世界の国々の音楽を聴き、それぞれの音楽が持つ独特の響きを味わいます。

使用教材等

- 教科書「音楽のおくりもの5」（教育出版）、リコーダー曲集「飛行船の旅」を使用します。
- CD，ビデオ，楽器，ワークシート，歌集「みんなのうた」などを使用します。

留意事項

- 家庭での歌やリコーダー練習にご協力をお願いします。
- ※ リコーダーの練習は、主に音楽の授業や教室での練習を積み重ねていきたいと思っています。家庭では、長期休業中のリコーダー練習をよろしくをお願いします。上達の跡が見えたら、あたたかい声かけをお願いします。
- ※ 教科書や歌集「みんなのうた」を利用してレパートリーを増やし、いろいろなところで歌を歌えると楽しいと思います。ご家庭でも一緒に歌ってみてください。